

優れた医療機器の創出に係る産業振興拠点強化事業 事後評価結果

研究開発課題名	全医療職/全医療部門が参画する先進的医療製品・システム開発を担う人材育成拠点(Bi-AMPS BASE)
研究開発代表機関	独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
研究開発代表者	金村 米博

【計画実施概要】

人材育成研修事業として、オンデマンド形式で活用できる Bi-AMPS e-Learning プログラムを開発し、急性期医療を支えるコメディカル 3 部門(薬剤部、臨床検査科、リハビリテーション科)の医療現場見学会と座学講習のハイブリッド教育研修会である Bi-AMPS メディカル・カンファレンスを 3 回開催し、対面での教育研修を実施した。臨床現場視点による開発計画の精緻化として、全医療専門職を技術評価者として活用した個別製品技術評価会(ベーシック、アドバンスド、オプション)を開催し、合計で 11 製品以上の技術評価を実施した。臨床ニーズ検証環境の提供として、6 件の医療現場発ニーズ/シーズを提案する医療現場発ニーズ/シーズマッチング交流フォーラムを開催した。医療機器の創出にかかる体制の整備として、Bi-AMPS BASE ワーキンググループ、Digital works Bi-AMPS、製品開発支援部の体制充実を実現し、大阪商工会議所、国立病院機構ネットワーク内病院等の拠点外機関との活発な連携体制構築を行い、Bi-AMPS ホームページを活用した拠点活動・製品開発実績の外部情報発信体制を整備した。

【評価コメント】

本拠点独自の取り組みである個別製品技術評価は、新規医療機器開発への医療従事者からの意見を得られる場として実践的な機会の提供ができている点が評価された。

以上